

## 「第6回雲南懇話会」開催のご案内

—山・地球温暖化・求法僧 / 夢・好奇心—

「第6回雲南懇話会」を下記のとおり開催致しますので、ご案内します。

「雲南懇話会」は、中国雲南省の最高峰・梅里雪山（6,740m）を中心とする「雲南・チベット地域」及びその周辺地域の総合的な研究を進める事を目的に、2004年12月に発足しました。

記

1. 日 時 ; 2007年6月30日(土) 13時00分～17時30分。茶話会 ; 17時30分～18時30分。
2. 場 所 ; JICA国際協力総合研修所・国際会議場。 茶話会は、国際会議場前のロビーで行います。  
<http://www.jica.go.jp> JR中央線・総武線、東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」下車、徒歩各10分。
3. 懇話会の内容 <題名、講師、順序とも変更される可能性があります。>
  - ①「**K2（8,611m 峰）登頂**」—東海大学 K2 登山隊 2006 年の記録— 登山隊長 出利葉 義次
  - ②「**地球温暖化は黄河にどのように影響しているか？**」  
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 教授、AACK 福嶌 義宏
  - ③「**茶馬古道の取材後記**」—西双版纳から徳欽に至る古道の旅を終えて—  
写真家、AACK 小林 尚礼
  - ④「**能海 寛のたどった道**」—四川・青海そして雲南からチベットを目指し消息を絶った青年僧—  
中央アジア研究者、Ph.D.、歴史家 金子 民雄  
【補足】「**地図と写真で見る能海 寛のコース**」—明治前期、人々は未知の地とその文化に憧れ、目指した—  
国土地理院客員研究員、いであ(株)勤務 長岡 正利
4. 懇話会参加費用 ; 一人 2,000 円 (ご夫婦の場合は、2 人で 3,000 円)、但し学生院生は無料。  
AACK and/or 笹ヶ峰会会員は 5,000 円(ご夫婦の場合も、2 人で 5,000 円。運営協力金 3,000 円を含む)。
5. 茶話会参加費用 ; 一律一人 2,000 円。ご夫婦の場合、2 人で 2,000 円。但し学生院生は 500 円。
6. 懇話会等 参加申込 ; 前田栄三 [maeda\\*you.ne.jp](mailto:maeda*you.ne.jp) or 小林尚礼 [bakoyasi\\*nifty.com](mailto:bakoyasi*nifty.com) まで (メールアドレスは、\*の部分を@に変更して下さい)。 以 上

**ご参考 ;** 1. 懇話会では自然科学・社会科学を問わず、様々な分野で交流を進めたいと思っています。この為、対象地域は、雲南・チベット地域を中心にラオス、ミャンマー、カンボジア、ベトナム、タイ、ブータン、インド、ネパール、パキスタン、四川省、青海省、新疆ウイグル自治区、モンゴル等に及びます。

2. 「**K2 登頂**」では、計画立案の経緯、バルトロ氷河キャラハン、気象情報の活用、医療班の活動等も紹介。

3. 「**地球温暖化は黄河に…**」では、世界一と言われる黄河の土砂濃度の高さの原因は何故か、1990 年代になって何故、下流に水が流れてなくなったのか、どんな対策が取られているか等について、概説。

4. **金子民雄さんのご講演に先立ち**、長岡さんから関係地域の地図や当時の写真等を短時間、紹介します。

5. **金子民雄さんの主な著書** ; 「ヘディン 人と旅」(白水社)、「ヘディン伝」「中央アジアに入った日本人」(以上、中公文庫)、「辺境の旅から」(古今書院)、「東チベットの植物採集家キングドン・ウォード」(小林書店)、「スコタイ美術の旅」(胡桃書房)、「動乱の中央アジア探検」(朝日文庫)、「天山北路の旅」(連合出版)、「アフガンの光と影」(北宋社)、「タクラマカン周遊」(山と溪谷社)、「西域 探検の世紀」(岩波新書)等。